

# アマダイ通信NO. 75b

(Tile fish network letter)

09年山茶花の季節に

## 知人・友人各位

政権交代がようやく実現し、一種の興奮状態の中で、期待と不安が交錯していますが、皆様如何お考えですか？民主党には「日本を変える」国民の期待に応じて欲しいものです。

### ◎遅れて来た全共闘？頑張れ！老人全共闘？

10月26日、政権交代後初の臨時国会冒頭、鳩山首相の所信表明演説は面目躍如たるものがあつた。1960年代後半、我々は同じ大学のキャンパスで学んだ。政治に没頭した●はそこで燃え尽き、余裕を持って社会へ出た者が、今、政治の最前線に立つ。

冷戦体制の下で、米ソがしのぎを削り、中ソ対立も激しさを加える複雑な世界情勢の下、ベトナムの共産主義化を阻止するという名目でアメリカがベトナムに大量の軍隊を派遣し、激しい爆撃を加えていた。世界中の学生がアメリカのベトナム侵略に反対して立ち上がり、その矛先はアメリカの片棒を担ぐそれぞれの自国政府にも向けられ、スチュウデントパワーの嵐が世界中に吹き荒れた。キャンパスと言わず街頭と言わずバリケードが築かれ、国家権力との激しい衝突が世界の到る所で日々繰り返された。

中国では権力が真二つに割れ、文化大革命の暴風が吹き、その風波は日本にも及んだ。大学で初めて政治的に目覚めマルクスをかじったが、ソ連や中国の「社会主義」に共感を覚えることが出来ずにいた●には、「文化大革命」の「魂に触れる革命」、「永続革命」のスローガンと、「世界の農村が世界の都市を包囲する！」という毛沢東の世界革命戦略は新鮮であつた。社会主義学生同盟ML派の仲間がバリケードで封鎖された東大正門に「造反有理！」、「帝大解体！」の旗を掲げた。キャンパスの到る所に「一人は万人のために！万人は一人のために！」の連帯のスローガンと共に、この二つのスローガンが氾濫した。

思えば鳩山首相の掲げる「友愛」の理念は「一人は万人のために！万人は一人のために！」の全共闘の理念に通ずる。学生運動から足を洗った積りで進学した本郷で、再び全共闘運動の渦に巻き込まれた仙石行政刷新相と、全共闘運動を脇で眺めていた鳩山総理と菅副総理が国政で、リベラルな「全共闘の理念」の下で共に闘うのは、恰も「遅れて来た全共闘」の如くである。政権を失って呆然自失、業界団体にもそっぽを向かれ全く元気のない自民党が、次の参議院議員選挙でも敗れば、巨大化した民主党が「一は分かれて二になる」（毛沢東「実践論・矛盾論」）の道理で分裂、大きくリベラルと保守の二大政党の対立に日本の政治が収斂して行かないか？頑張れ！「老人全共闘」！

### ◎●はオバケ！？

久し振り、東大三鷹寮3年先輩のAさんから電話。大腸癌を手術した後も普通以上に精力的に働き、毎晩飲んで、海外にもよく行き、エネルギーに活動する●はオバケだ！と。本人は●より一年前に大腸癌を手術、その後大腸癌が転移して肺を手術、大腸も再手術、一時弱っていたが、最近は元気になった。元気になると何かしたくなって、●の仕事でも手伝えたらと思い、電話したと。

二度、三度と手術が続くので大変だと思っていたのだが、逆に万が一、大腸癌が一番転移しやすい肝臓、次に転移が考えられる肺や脳に転移したり再発しても後二、三回は●にもチャンスがある、手術して立ち直れると安心する。肺癌も原発のは厳しいけど、大腸癌から転移した肺癌は楽だよと、先輩。肺に転移するリスクを抱える●には嬉しい情報。開腹して盲腸と一緒に大腸を30センチ切り取り、お茶の水駅前の三楽病院の外科病棟に入院している時、肺癌を手術した患者さんのつらい様子を見ていた●には朗報だ。

Aさんは、何もしないで家にいると気が塞いで落ち込むというが、●の所もアシスタントはどうにか足りてるし、人脈が頼りの●の営業活動は本人がしないと説得力に欠ける。大手生保の不動産部長をされた方だし、●も宅地建物取引主任者資格を持ち、建築営業は不動産情報がルーツだから、不動産業でも一緒にできればと思ったりする。

切除したリンパ腺の3箇所が癌が転移した、ステージⅢb「殆ど治癒する見込みなし」(岩波新書「胃がんと大腸がん」)の大腸癌を手術して6年半、完治と言われる術後5年もお陰様で軽くクリアした。●が二度の手術を超えて元気を回復したA先輩の声を聞いて安心を貰うように、●の元気に活動する様を見て、力づけられる方もいるかも知れない。この数年でも抗がん剤や放射線、更にそれらと外科手術を併せた統合療法など、癌の治療法も進歩した。細かいことは気にせず、物事の積極面を評価、好奇心旺盛に、よく働き、よく学び、よく遊んで、多少は人の役に立ち、その時が来たら潔く、黄泉の世界に旅立とう！

### ◎学力上位県秋田と進学指導（能代高校東京同窓会誌に寄せて）

近年小学生の学力検定で秋田県が首位を占め話題になる。先日も朝日新聞で報じられ、関心があるとは思えないカミさんまで、秋田では3年生まで30人学級で、四年生から六年生までも担任の先生の他にもう一人先生がつくの！と感心している。小、中学生の学力が上がれば、大学進学の実績が上がるのも当然だが、こちらはパツとしない。東大合格者数に関する限り十人前後と、半世紀近く前、私が高校生の頃と変わらない。変わったのは秋田と横手の両校に合格者が集中することだ。去年まではそれでもたまに能代や大館からも合格した。今年は秋田と横手のみになった。どうして母校から合格しないか？昔も学校が何か特別の教育プログラムを持っていた訳でなく、生徒が勝手に勉強していた。授業では教科書の範囲しか扱わず、それくらいのことは前以て教科書を読み、例題、練習問題を解けば理解できる。授業を聞いても仕方ない。一年の時から培風館の数Ⅰ精義や旺文社の分厚い「英語の総合的研究」「古文の研究」等の受験参考書に挑戦する。

一年生には難しい内容でも、解説をじっくり読めば入試問題の三つに一つは解ける。解けない問題も解説を良く読み理解する。それでも解らない問題は先生に質問する。二回目は初めに解けなかった問題だけ、三回目は二回目に出来なかった問題にだけ挑戦。時間はそれぞれ半減、一年生の間に受験レベルの学力が出来た。授業は聴かず、難しい質問だけする生徒だったが、こんな解き方も出来る？こんな解釈も可能！と、東北大出たての数学の畠山先生や国語の高橋先生には特によく質問、自説を認めて貰うのが嬉しかった。生徒の知的興味に応え、目標ともなり得る、情熱的師が今の母校にいるだろうか？英語や古文では注釈付きの原文もよく読んだ。多少の解らない所は飛ばし、沢山読むことを心掛けた。大事なタムなら何度も出て来るので、周りの状況から意味を推測出来るようになる。一度しか出ないものなら、重要でないから覚える必要はない。

物心付き、知的好奇心が旺盛になり始めた小学3、4年生の頃、九人兄弟の八番目の●の周りに高校、大学の教科書や日本と世界の文学全集が転がっていた。手当たり次第に読んだ。裾野広ければ山高し。受験勉強だけしては受験に成功しないし、その後の人生も詰まらない。今もそうだと思うが、東大の入試問題はオーソドックスで誰にでも解ける（ように見える）。受験勉強は短期間に、重複を避け効率的に！歴史書と恋愛小説を沢山読み、知識と読解力つけ、恋文も沢山書いて表現力を磨き、志高くチャレンジしたいものだ。

### ◎母校は芸人養成学校？・・・能代高校東京同窓会盛り上がる！

秋晴れの日曜日、アルカディア市ヶ谷で能代高校東京同窓会。8年下で実家も一軒おいて隣、小田和正とオフコースやっていた松尾一彦、それに小林亜星の事務所アストロミュージック社長で、吉田拓郎のバックバンドでドラムを叩いていたという、中学同級生菊池俊子さんの義弟の五代儀彦秀、更に一年下でチューリップの宮城伸一郎、とんぼちゃんの市川善光がトークライブ。例年の5割増の150人で盛上る。

持ち歌を1、2曲ずつ披露、最後にチューリップの大ヒット曲「心の旅」の大合唱。音痴の●も不協和音を発しながら、彼等の協力でオフコースやチューリップのコンサートを開催し、三鷹クラブや緑の地球ネットワークなどの資金稼ぎできぬかと思いを巡らす。

同窓会担当として上京した松谷君も入り同期で二次会。6月でJALの機内食会社の役員を退いた石山真君はスキーの一級指導員のライセンスを持ち、新幹線でガーラ湯沢まで行き、コブでもガンガンすっ飛ばすという。民主党から比例区で衆議院議員に当選した兄さんと一緒に参加した高松睦夫君も、スキーなら任せろという。今シーズンはいつもの宝台樹の他に、5月の連休に滑った奥只見丸山、ガーラと色々な所で楽しめそうだ。

### ◎南アフリカ紀行・・・アフリカに再び陽は昇るか？(上)

山崎豊子の「沈まぬ太陽」が渡辺謙主演で映画化され話題になっているが、9月のシルバークウィークは南アフリカを旅した。一昨年のケニア、今回の南アと、「沈まぬ太陽」の舞台を旅したので、普段は小説を読まない●だが、復習のために紀伊国屋で新潮文庫のアフリカ編上下二冊を買う。いつ読めるか分からないが「学びて時に之を習う」ことは必要だし、読みたい時に読みたい本が手元にあるというのも、細やかな幸せというものだ。読書の秋を楽しむ皆さんに、●の南ア紀行を回を分けて送ります。

### ①チョベ川氾濫？部屋水浸し！

出発の朝、スーツケースに荷物を詰め終え鍵を掛けようと探すが見つからない。急遽、娘のスーツケースに詰め替えるハプニング。成田から香港までANAで4時間、南ア航空でヨハネスブルグまで14時間、ビクトリアフォールズまで1時間40分、乗り継ぎ入れ丸1日。更にチョベ国立公園までバスで85キロ。国境を二つ越える。ジンバブエのビクトリアフォールズは国際空港だがボーディングブリッジがなく徒歩でターミナルへ。入国審査のデスクも二つだけで、パソコンもない。審査料が45ドル。無能・腐敗の独裁ムガベ大統領の懐に入ると思うと腹が立つ。

ボツワナへは徒歩で入国、バスを乗り替える。同タイプの20人乗りだがボロで冷房も効かない。森というには疎、サバンナというには密な、乾季と雨季の狭間の緑少ない、見渡す限りの疎林を貫く一本道をひた走る。国立公園の中だが野生動物が目に入らない。ド

ライブ終了間際、大きな蟻塚の近くで小枝ごと木の葉を食む象一頭。サファリで嫌と言うほど見れるよと言うが、バスが止まり、皆が大喚声上げてシャッターを切る。

チョベ国立公園の素敵なコテージへ。サファリに出掛ける前に一風呂浴びよう！水栓二つ全開にする。着替えを取り出そうと慣れないスーツケースの鍵と格闘、気がつく足元が水浸し。湯船から溢れた水が、排水口のない浴室から流れ出している。足拭きタオルで雑巾掛式に二階のベランダから落とす。チョベフォールだ。サファリの時間が近づき、黒人ボーイを呼び一緒に雑巾掛け。チップを1米ドル渡す。

## ②野生の王国・・チョベ川の夕暮れ

ロッジの船着き場からモーターボートでチョベ国立公園をサファリ。何も見えない。沢山ある草原状の大きな中洲に乗りつける。草と黒土との見分けがつかないが、ガイドの指差す先にクロコダイル。こちらも向こうも慣れないせいか慌てて水の中に飛び込む。続いてカバ君。目と耳、鼻だけ出し繰り返し潜る。遠くで黒い斑点がゆっくり動く。近づくとバッファローの群れ。毛づやのいい可愛い鹿の仲間インパラが群れて草を食み、イグアナが短い足を立てモタモタ、精一杯の早さで逃げる。前方で象の群れに船が群れている。

子象を連れるのはメスの群れ。悠然と草を食べ終え寝ぐらへ帰るのか、先頭の大きな象に続き川に入る。足の付根まで川に浸り先頭が渡り切り安心したのか？取り残された2頭も渡り始める。野生で見るのは初めてという動物が次々現れ、最初は大歓声を挙げたワニが巨体を横たえ、砂の岸辺で甲羅干するが大して面白がらない。人の気持ちはかくも移ろい易い。夕焼けのチョベ川に浅底の木船、一人操り網入れる漁師。

素敵な雰囲気のコテージのレストランで、新婚旅行の若者とテーブルを囲みアフリカ料理のバイキング。先ほど可愛いと感じ入ったインパラの肉も口に入れる。淡泊な味。保護区で増え過ぎ間引くのだという。軽い地ビールのザンベジをお代わり。18名の一行に飲んべえ少なく盛り上に欠ける初夜。新婚さんにトラピクスがシャンパン一本とフルーツバスケットを贈る。二人で盛上って欲しい。前夜から寝不足、寝酒の力借りず、チョベ川夜船。翌朝日本にメールしようとするが、さすがジンバブエ、メールが繋がらない。

## ③野生の王国・・弱肉強食の世界

朝未だ来、ロビーでクッキー摘み、コーヒー流し込んで、幌屋根のトヨタのピックアップでサファリに。トヨタ車が多いのは南アで組み立てているからか。Tシャツにジージャンで肌寒いほどのスピードで、土埃巻き上げ走る。太陽が顔を出しジージャン脱ぎ捨てる頃、異様な匂いが漂い、空をハゲワシが舞い、ハイエナが地を這う。一週間前象が一頭死んだという。まずライオンが美味しい所を食べ、ハゲワシが腐肉をついばみ、強力な顎を持つハイエナが骨までしゃぶる。まさに弱肉強食の野生の世界。

オスライオン2頭がタテガミかざしノソリノソリ現れ、クライマックス。かしこに象の群れ。巨体揺すり目の前通り過ぎても昨日ほどの感動は覚えない。大きなブロックになった肉塊にむらがるハゲワシ。首まで血染めのハイエナ？が腹一杯になったか遠ざかる。ワイルドドッグは珍しいとガイド。

## ④インスタントカメラをビジネスに！？通貨高権失った国

再度国境を越えジンバブエのビクトリアフォールズのホテルで昼食。地ビール3ドル。15分1万4千円で世界三大瀑布ビクトリアの滝を遊覧飛行する。スケールの大きさに圧倒される。高所恐怖症の●には死ぬ思いだ。ペルーのナスカ地上絵遊覧飛行は大丈夫だったと高を括っていたが、セスナとは言え飛行機とヘリコプターの安定性の違いか？

遊覧飛行から帰りクラフトマーケットへ。木や石彫りの工芸品を安く買える。70ドルの、背丈以上の高さの木彫りのキリンを梱包込みで30ドルに値切って買い、喜ぶ者も。女はここでも買う動物。思い思いに品定め、日本では経験することが少ない値切り交渉を楽しむ。安く買い叩いていいのかと後ろめたさを感じながら。「大麒麟」を梱包してくれた男をインスタントカメラで撮ってやると、俺も撮ってと列ができる。フィルムが高いと断ると、交換に麒麟やカバの木像を持ち帰る羽目に。マーケットの帰り、ガイドも写真を撮ってくれと言う。撮ってやると0が14個ついた1ジンバブエドル札をくれる。ハイパーインフレのジンバブエでは誰も自国通貨を使わず、お土産として売られるだけ。経済は去年が最悪でスーパーから物が消え、3日も食事が無いのは当たり前で餓死者も出たが、悪いながらも今年は落ち着いているとのこと。

夕食まで時間があるので、ホテルの中庭の小さなプールで泳ぐ。前回のメキシコ旅行で帰国当日朝カンクンで泳ぎ、洗っておいたままの水泳パンツがまだ生乾きで、洗い直して物干しにかけたまま忘れて来たことに気づく。遊覧飛行の土産物屋で35ドルで売っていたが割高なので買わず、黒い短パンを履いて泳ぐ。添乗員の池田さんもプールに。プールサイドで彼女はザンベジビールを頼み2ドル、僕はアフリカのカクテルを！と8ドル。池田さんの素敵なプロポーションを肴にテキーラとジン、ウォッカの入ったカクテルを呑む。若い娘2人はジンフィズを頼み3ドル。夜のアフリカンバーベキューの地ビールは5ドル。インパラやガズーの肉を炭火で網焼きしてくれるが、和牛の焼肉やしゃぶしゃぶに勝るものはない。客とバンドが一体となり、一緒に太鼓叩き、踊って盛り上がる。

翌朝、ビクトリアの滝を対岸から見る。幅千7百メートル、高さ108メートル。乾季で水量は少ないが滝壺に濠々と音立てて落ち、対岸の我々にまで水飛沫が跳ね上がる。ザンビア川がまさに滝となって落ちんとする所で泳ぐ一団。ヨハネスブルグ行き飛行機が遅れ、空港のバーカウンターでハイネケンを頼み、3ドル払う。ウエートレスとママが交々ジンバブエドルをお土産に買わぬかと言う。交換機能、支払機能を失い、通貨としてではなく「モノ」として取引されるジンバブエドル。国家権能としての通貨高権を失うに等しい。

## ◎日本の森林の現状と可能性・・・東大三鷹クラブ第87回定例懇談会のご案内

福田隆政（(独) 森林総研理事、前林野庁国有林野部長、昭和47年入寮）は義理人情に厚く、理にかなった生き方をしていたせいかわ多くの寮友が兄貴のように慕っていた。赤提灯「いこい」では手ぬぐいを鉢巻にして大信州を飲み、グラウンドでマージャンをしていた姿が目につかぶ。しかしながら変な兄貴であった。慕われているにもかかわらずみんなのアイドルになっていたのである。寮友は「福さんが・・・」と愛情をもって可愛がっていたのであり、尊敬されるアイドルであった。

老いた母ひとり子ひとりの福さんは、ときどき送られてくる仕送り500円を大事そうに「この金は飲まない。本を買う」と語っていたのをいつも思い出す。お母さんは泥絵画家で栃木の実家に泊まりに行ったとき、布団に手の出すところが付いていたので、私はこ

れはどてらであると言って、着て町へくり出しても笑っておられた。お母さんがなくなり身内が誰もいなくなったので、生命保険の受け取り人を君にしようと言われたとき、涙が出た。その後結婚し、生保の受け取り相手が確定した。

福さんの世界観はすばらしいものがある。社会の営みの原点に階級闘争があることと同時に、資源・エネルギー・環境・水問題があることを主張していた。戦争が市場拡大と同時に、資源・エネルギー・環境・水の権利再分割戦争であったからである。十数年前、国有林野の資源・エネルギーの有効利用を検討する委員会を設定したとき、学者を調査したところ私の弟（敦司・昭和50年入寮）がいて、バイオマス流動層ガス化炉の企業として私が選ばれ、森林の学者として三鷹寮委員であった小池浩一郎（島根大学・生産資源学部教授・昭和45年入寮）が委員となった。昔話で毎回酒を飲んだが、「堤、小池、ちんたら仕事せずに早く森林が人々を助けるように工夫せい！」と叱られたのにはびっくりした。弟は東大生研エネルギーセンター長となり、低炭素社会に向けてさまざまな試みを政府に提言し、小池先生は森林バイオマスが流通する仕組みを考案し、プロジェクトを立ち上げ、私はバイオマスガス化ガスタービン発電機を開発し、動かしている。また、風力発電の平滑化電池も開発し、森林の小水力発電も会社で開発した。

福さんは世のため人のためには命をかける、時代遅れの役人である。事象に対して「自分の立場、利益に良いものか悪いものか」を判断するのがサラリーマンであるにもかかわらず、「社会、人間、自然に良いものか悪いものか？」で動いてしまうのである。明治政府発足以来初めて「森林行政をどう考えている？」と、大蔵省に殴りこんだ役人だと聞いている。三鷹寮寮友には機会あれば彼を守ってくださるようお願いしたい。

堤 香津雄（昭和50年入寮、川崎重工(株)技術開発本部ギガセルプロジェクトグループ参与）

日時：平成21年11月30日（月） 18時30分～21時（開場18時）

場所：学士会館本館203号室（千代田区神田錦町3-28 TEL 03-3292-5931）

会費：5000円（会場費、夕食代・ビール代、通信費など込み）

申込先：平賀・干場 Fax 03-5689-8192 電話 03-5689-8182

（有）ティエフネットワーク Email: [tfn-hoshiba@blue.ocn.ne.jp](mailto:tfn-hoshiba@blue.ocn.ne.jp)

※次回は2月5日（金）、講師は会田柏崎市長（S41年入寮）です。

## ◎第10回東大三鷹クラブゴルフコンペのご案内

S40年入寮の田代鋼一郎さんが幹事で、栃木カントリーで行われた第8回コンペでは友岡誠、黒沼栄彦（S38年入寮）、妹尾盈夫（S40年入寮）先輩の新顔も加わり、和気藹々ゴルフを楽しむ。上手な先輩諸兄に刺激されたか、前半44、後半50と、🍀も百突破、ゴルフ人生初めての好スコアが出る（その後は相変わらずの110ですが）。

調子に乗って第10回を企画しました。奮ってご参加下さい(11.29の第9回も募集中)！

日時：12月20日 集合8時30分（3組）

料金：ビジター1万4千9百円、賞品代、パーティー代各2千円

会場：小川CC（関越道嵐山小川インター降りて10分、池袋から直通70分の東武線小川町駅から送迎バス頻繁）

申込み：干場事務所まで、メール又はFaxで

### ◎鮫桶ぶら下げ、AIKOM (交換留学生) 歓迎会へ！

10月11日の日曜日、ゴルフの帰り、花小金井の寿司屋で同窓会からプレゼントの鮫桶をピックアップ、6時から寮の交換留学生歓迎会へ。9時過ぎから和食ファミレス華屋与兵衛で二次会。世界中からの交換留学生25人含め80人ほど集まり、和室二部屋通しでギュー詰め、12時過ぎまで盛り上がる。一番飲み食いした時使った12万円ほどポケットに入れていたのだが、締めると18万円。前回までと違い、カード使えるようになり、ホッ！

来日したばかりの留学生だが、珍しい畳の上で膝突合せ、余り口にしたことのない和食のアラカルトをつまみに、アルコールの助けも借りて、胸襟を開いて話すことができ、お互いの距離がぐっと近くなったようだ。英語交じりの日本語が飛び交い楽しそうだ。

これを機会に留学生同志、留学生と日本人学生が親交を深め、切磋琢磨、社会有為の人材に育ち、総合大学の寮の特色を生かし、グローバルでオールラウンドなネットワークを形成、日本と世界のために貢献出来ると嬉しい。「選ばれし者」の自覚を持ち、他人の喜びを自らの喜びに、他人の痛みを自らの痛みにできる人間に、三鷹の地で育てて欲しい。他人の役に立つことを自らの生きる糧としうる人材が三鷹寮から輩出することを願い、代行を呼んで一足先に小平に帰る。以下は寮生のありがとうメール(ママ)の一部です。

### ◎ありがとうございました！

こんにちは！わたしはエジプトから参りまして、AIKOMのシャヘンダです。昨日はとても楽しかったで、どうもありがとうございました。これからもよろしく願いいたします。

### ◎Domo Arigato Gozaimasu

Dear Mr Hoshiba,

I am writing to thank you for your kindness and generosity in inviting us to join you for a party on Sunday evening. My name is Zoe Walshe, and I'm an AIKOM student from the University of Warwick in England. It is my first time visiting Japan, and I am so grateful for your very kind welcome. The party at the Japanese restaurant was a brilliant opportunity to meet other Japanese students, and former students like yourself - I look forward to many friendships between the Japanese and International students. Once again, arigato gozaimasu. Yours faithfully, Zoe Walshe

### ◎Arigatou gozaimashita

Dear Mr. Hoshiba,

I am Ayu the AIKOM student from Indonesia. Firstly, I want to apologize for sending this email in English because my Japanese is not that good. Secondly, I want to thank you for last night. Gochisousama deshita. Hontou ni arigatou gozaimashita.

I'm really happy to be in Japan and I'm really grateful to be able to meet you.

Sincerely yours, Ayu

### ◎Mr. Hoshiba:

THANK YOU SO MUCH!!私はaikomの呉迪です。今日はとても楽しかった。本当にありがとう

うございました！！ 干場さん お休みなさい

### ◎干場さん

先日はアイコム歓迎会にお越しいただき本当にありがとうございました。歓迎会に参加する人数もアイコム生に積極的に話しかける人数も去年に比べてかなり増えた気がします（二次会は大変な事になっていましたが…笑）。これも干場さんが交流の機会を増やそうとしてくださっているおかげだと思います。今後とも三鷹寮のお世話、よろしく願います。實川

### ◎第三回音楽祭・・・寿司屋の銀の皿閉店で慌てる

10月24日（土）、寮で第三回（今年二回目）の音楽祭。この頃の東大生は芸達者、留学生も交え、日頃鍛えた腕を奮い、喉震わせる。演奏後の懇親会なので、作り置き寿司を車で運ぶ訳に行かない。寮で銀の皿調布店に電話、同窓会から差入れしようとするが通じない。慌てて寮生に聞き、雨の中、近くのカップ寿司へ走る。交換留学生24人が日本語で合唱、最後に「世界で一つだけの花」を全員で歌って閉会。鮭つまみ懇親会。

### ◎駒場祭の教室確保、鳩山総理、母校講演実現するか？（終わりに）

首相に母校で「時代を変える、若者へのメッセージ」を語って欲しいという三鷹寮生諸君と語り、11月21日（土）4時半から6時まで1323教室を確保し、根回し中です。民主党代表時、五月祭と駒場祭で出演して頂いてます。実現したいものです。駒場で再見！